第３次富山市上下水道事業中長期ビジョン(案)【概要】

1　策定の趣旨

富山市上下水道事業中長期ビジョン（以下「ビジョン」という）は、平成 19(2007)年度からスタートする富山市総合計画を上位計画として、上下水道事業のあるべき姿と目指す方向性を明らかにするため、第１次から第２次ビジョンへと次のコンセプトを中心に据えて事業を推進し、水道水の安定供給や快適な生活環境の確保を図ってきました。

この間、本市上下水道事業を取り巻く環境は大きく変わり、人口減少や上下水道インフラの老朽化、自然災害の激甚化・頻発化、物価、エネルギーコストの上昇など課題は多岐にわたります。

こうした時代変化や課題に的確に対応し、将来にわたり安定した上下水道サービスを提供していくため、「選択と集中」に基づく事業マネジメントの推進をコンセプトに、令和 9(2027)年度を初年度とした「第 3 次ビジョン」を策定するものです。

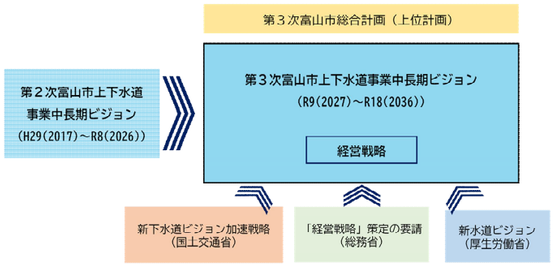
〇コンセプト

第１次ビジョン…「施設整備・拡張」を中心とした事業の推進
（平成 19 年～平成 28 年）
第２次ビジョン…「施設の維持管理」を中心とした事業の推進
（平成 29 年～令和 8 年）
＜今回＞第３次ビジョン…「選択と集中」に基づく事業マネジメントの推進

2　ビジョンの位置付けと計画期間

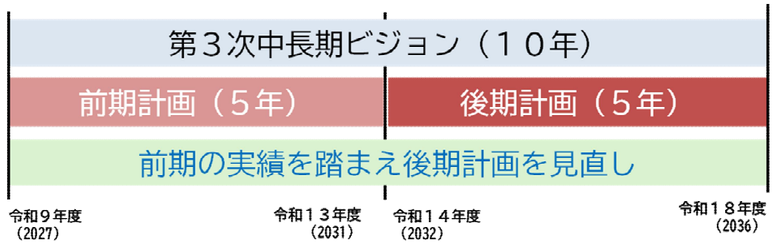
（1）ビジョンの位置付け

・本市の最上位計画「第3次富山市総合計画」と整合を図る
・第2次ビジョンの施策の進捗状況を踏まえ、国の「新水道ビジョン」等の趣旨を考慮
・本市上下水道事業の基幹計画とするとともに「経営戦略」として位置付け



（2）計画期間

第３次中長期ビジョンの計画期間は令和 9(2027)年度から令和 18(2036)年度までの 10 か年とし、前期の実績を踏まえて後期計画を見直し、各事業を着実に推進します。



3　富山市の上下水道事業を取り巻く現状と課題

（１）人口減少　…　水需要の減少に伴う上下水道収益の減少
（２）上下水道インフラの老朽化　…　上下水道施設の老朽化の進行に伴う更新需要の増大
（３）自然災害の激甚化・頻発化　…　自然災害に対して強靭な上下水道施設の構築
（４）下水道管路マネジメントの強化　…　管路の維持管理のための業務量・事業費の増大
（５）物価、エネルギーコスト等の上昇　…　物価等の上昇に対応する経営基盤の確保
（６）専門人材の不足　…　技術継承や施設整備の遅れなどの懸念
（７）事業者数の減少　…　施設整備や維持管理などに支障発生の恐れ

4　ビジョンの内容

（1）２０５０年の富山市上下水道の理想像（あるべき姿）

上下水道に関するタウンミーティングやワークショップ等の活動を通して、現在市民の「思い」と同時に将来市民が持つであろう「希望」や「願い」などから、２０５０年における富山市の上下水道の理想像（あるべき姿）を描きます。

①現在（２０２６年）と変わらず、２４時間３６５日いつでも安全・安心で安定した上下水道サービスが提供されている。
②地震や豪雨など大規模な自然災害に対して強靭な上下水道インフラが整備されている。
③環境にやさしく低炭素社会の実現にも貢献した事業運営が行われている。
④健全な経営が維持された状態である。

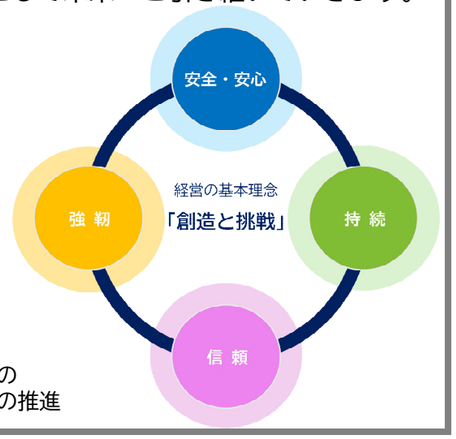
（2）経営の基本理念

2050 年の富山市上下水道の理想像(あるべき姿)を追い求めるには、従来からの習慣や固定観念にとらわれず社会経済情勢の変化や時代の潮流に柔軟に対応しながら、知恵を絞り、情熱を傾け、職員が一丸となって、お客さまと共に新たな価値を「創造」する姿勢が重要です。そして、現状に満足することなく自ら課題を把握し、その解決に向けて果敢に「挑戦」し続けることで、お客さまの安全安心な生活を支える上下水道を持続可能なものとして未来へと引き継いでいきます。

（3）経営の基本方針

基本理念である「創造と挑戦」を実践していくため、次の４つの経営の基本方針を定めます。

① 安全・安心
安全・安心でおいしい水道水の安定供給と健全な水環境の創出
② 強靭
災害等の危機事象に対して強くしなやかな上下水道インフラの構築
③ 持続
健全経営の維持と上下水道サービスの未来への継承
④ 信頼
上下水道のユーザーでありオーナーでもあるお客さまとの上下水道の課題や理想像についての共有とお客さまとの信頼関係に基づく事業の推進



（4）施策の体系（ 政策　と 主要施策 ）

２０５０年の富山市上下水道の理想像（あるべき姿）を追い求め、経営の基本理念と経営の基本方針に基づき、今後１０年間で取り組む１０の政策と３８の主要施策を定めます。

経営の基本方針	政　策		主要施策	
【安全・安心】 安全・安心なおいしい水道水の安定供給と健全な水環境の創出が具現化されている。	1	水道水の安全性の向上	1	適切な水質検査の実施
			2	鉛製給水管の布設替えの計画的な推進
	2	下水道による水環境の向上	3	水環境の保全
	3	上下水道管路の改築及び上下水道基幹施設の計画的な更新	4	老朽水道管の更新
			5	老朽下水道管の更新
			6	流杉浄水場の再整備
			7	下水処理場の大規模設備の更新
	4	上下水道管路・施設の適切な維持管理	8	水道施設の維持管理
			9	水道管の維持管理
			10	下水道施設の維持管理
			11	下水道管の維持管理
【強靭】 災害等の危機事象に対して強くしなやかな上下水道インフラの構築が具現化されている。	5	災害対応力の強化	12	上下水道システムの冗長性の確保
			13	マンホールトイレの整備
			14	内水ハザードマップの作成
			15	上下水道台帳のクラウド化
			16	ＢＣＰの改定の実施
			17	実践的訓練の実施
			18	落雷への対応強化【追加】
			19	上下水道施設の耐震化
			20	上下水道施設の耐水化
			21	浸水対策の推進
【持続】 健全経営の維持と上下水道サービスの未来への継承が具現化されている。	6	持続可能な上下水道システムの構築	22	汚水処理システム全体の最適化
			23	上下水道施設規模の最適化（ダウンサイジング）
			24	公共下水道事業と農業集落排水事業との統合（一元化）
	7	経営基盤の強化	25	上下水道料金の適正化
			26	デジタル技術の活用による上下水道DXの推進
			27	業務執行体制の見直しと官民連携の推進
			28	資産の有効活用
			29	新しい工事発注方法の導入
			30	人材の確保・育成
			31	エンゲージメントの向上【追加】
	8	脱炭素・資源利用の推進	32	汚泥等の資源の有効活用
			33	温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギーの有効活用
【信頼】 上下水道のユーザーでありオーナーでもあるお客さまと上下水道の課題や理想像(あるべき姿)が共有され、お客さまとの信頼関係に基づき事業が推進されている。	9	お客さまとの信頼関係の構築	34	双方向のコミュニケーションの推進
			35	積極的な情報発信
	10	お客さまサービスの向上	36	お客さまニーズの把握
			37	お客さまの利便性の向上
			38	水道水のＰＲの推進【追加】

（5）投資計画の主な成果（アウトプット）

強靭で持続可能な上下水道を構築するため基幹施設の大規模改築及び施設の耐震化、管路の老朽化対策など、今後１０年間で水道事業では約７６０億円、公共下水道事業では約８４０億円の投資を行います。　（※Ａ案の場合：投資・財政計画は次頁参照）

○水道事業会計

	A案
建設改良費（投資額）	総額　759.8　億円
① 流杉浄水場の改築	80.4　億円
10年間の整備量	・流杉浄水場（２系）５万㎥/日を改築
アウトプット（成果）	・流杉浄水場（2系）の改築が完了
② 水道施設の耐震化	524.4　億円
10年間の整備量	・急所施設の耐震化　50施設 （取水施設、浄水施設、配水池、ポンプ所） ・基幹管路の耐震化　35km （導水管、送水管、配水幹線）
主なアウトプット（成果）	・耐震化が完了している急所施設 ✓123施設→173施設（+50施設）　耐震化率：27%→38%
	・基幹管路の耐震化率 ✓47.0%→61%（+35km）
	・水道施設の耐震化が完了している重要施設 ✓96箇所→173箇所（+77箇所）　耐震化率：40%→73%
	・上下水道システムの耐震化が完了している重要施設 ✓7箇所→60箇所（+53箇所）　耐震化率：3%→30%
③ 老朽水道管の更新	104.4　億円
10年間の整備量	・老朽水道管の更新 40km
アウトプット（成果）	・塩ビ管（昭和53年以前）更新率 ✓32%（40km/125km）　全水道管の耐震化率：45%→49%
④ 固定資産購入費等	30.3　億円
⑤ 人件費	20.3　億円
総合評価	・Ｒ１３年度まで黒字を維持できる見込み ・流杉浄水場（2系）の改築により更なる水道水の安定供給が図れるとともに、水道施設の耐震化や老朽化対策を着実に進めることで、強靭で信頼性の高い水道システムの構築が推進される。

○下水道事業会計

	A案
建設改良費（投資額）	総額　836.7　億円
① 下水道管路マネジメントの推進	123.1　億円
10年間の整備量	改正下水道法で定められた下水道管の点検延長：746km 点検により劣化が確認された管路の更新延長：53km
アウトプット（成果）	・下水道管の点検延長 ✓746km ・管路の更新延長 ✓53km
② 下水処理場の大規模設備の更新	316.0　億円
10年間の整備量	大規模設備を更新：32設備
アウトプット（成果）	・大規模設備の更新率 ✓100%（32/32）
③ 下水道施設の耐震化	136.3　億円
10年間の整備量	急所施設（浜黒崎浄化センター）の耐震化：1施設 下水道管（水道が耐震化済かつ居住誘導区域内）の耐震化：20km
アウトプット（成果）	・耐震化が完了している急所施設（揚水施設） ✓3施設→4施設（+1施設）　耐震化率：80.0%（4/5）
	・重要な管路の耐震化率 ✓53.9%→57.4%（+20km）
	・下水道管の耐震化が完了している重要施設 ✓35箇所→79箇所（+44箇所）　耐震化率：39.7%（79/199）
	・上下水道システムの耐震化が完了している重要施設 ✓7箇所→60箇所（+53箇所）　耐震化率：30.2%（60/199）
④ 雨水幹線等の整備	118.3　億円
10年間の整備量	中心市街地（合流区域）における浸水対策：L=11.6km 雨水幹線の整備：L=1.1km
アウトプット（成果）	・浸水被害が軽減する面積 ✓9ha/77ha
⑤ 地工事関連、耐水化対策等	77.9　億円
⑥ 固定資産購入費等	43.2　億円
⑦ 人件費	21.9　億円
総合評価	・Ｒ１３年度まで黒字を維持できる見込み ・改正下水道法の技術基準に沿った管路マネジメントを推進し、老朽化した下水道施設の更新等を着実に進めることで、強靭で持続可能な下水道システムの構築が推進される。

（6）投資・財政計画　　※A案の場合

計画策定にあたっては、これまでの実績と今後の人口減少等を踏まえて収益を積算するとともに、計画期間内において予定している事業等を基に積算しました。富山市の上下水道事業を取り巻く現状と課題への対応では多くの費用が必要となり、大変厳しい経営環境が見込まれますが、将来世代に安全安心な水道水と快適なくらしをつないでいくためには、施設の更新などの投資が必要不可欠であり、経費削減の徹底などの経営努力を重ね、収益と投資のバランスを取りながら確実な事業の推進に努めます。

＜水道事業会計＞

単位：百万円

収益的収支（税抜）
　収入：水道料金など
　支出：施設の維持管理費用

ビジョン前期（５年）／ビジョン後期（５年）
料金算定期間（４年）／現行料金体系の維持を目指す／赤字となる見込み（料金改定の検討が必要）

科目・年度	例	R8（当初予算ベース）	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収入　①		8,480	8,464	8,436	8,415	8,389	8,358	8,315	8,269	8,216	8,155	8,084
【内訳】営業収益	水道料金などの収益	7,413	7,356	7,321	7,287	7,252	7,214	7,175	7,136	7,098	7,059	7,011
営業外収益	水道料加入金などの収益	1,061	1,101	1,108	1,121	1,129	1,137	1,133	1,125	1,111	1,088	1,065
特別利益	水道メーターの売却益など	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
支出　②		7,740	7,327	7,617	7,768	8,047	8,310	8,546	8,862	9,004	9,242	9,797
【内訳】営業費用	電気代や薬品費、委託費など	6,952	6,585	6,803	6,852	7,027	7,170	7,318	7,501	7,521	7,615	8,004
営業外費用	企業債の利息など	777	729	801	904	1,008	1,128	1,216	1,349	1,470	1,615	1,782
特別損失	過年度の決算数値修正など	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
当年度純損益　①-②		**740**	**1,137**	**819**	**647**	**342**	**48**	**▲ 231**	**▲ 593**	**▲ 788**	**▲ 1,087**	**▲ 1,713**

資本的収支（税込）
　収入：金融機関からの借入、国からの補助金など
　支出：施設を作ったり、直したりする費用

科目・年度	例	R8（当初予算＋R7繰越）	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収入　③		6,670	3,917	5,072	5,032	5,186	4,295	5,629	5,366	6,053	7,043	9,219
【内訳】企業債	金融機関からの借入	4,749	3,119	3,835	3,844	4,248	3,393	4,701	4,436	5,155	5,824	7,977
出資金	市からもらうお金	67	63	60	55	50	46	39	33	27	21	20
国庫補助金	国からの補助金	1,574	660	1,070	1,066	830	798	829	837	808	1,135	1,157
その他	※１	280	75	108	67	57	58	60	61	63	64	66
支出　④		11,350	7,846	8,980	9,004	9,118	8,037	9,731	9,430	10,257	11,439	14,015
【内訳】建設改良費	施設を作ったり、直したりする費用	8,998	5,556	6,751	6,797	6,958	5,916	7,604	7,284	8,053	9,208	11,851
企業債償還金	金融機関への返済元金	2,352	2,290	2,229	2,207	2,160	2,121	2,127	2,145	2,204	2,231	2,164
資本的収支不足額　③-④		▲ 4,680	▲ 3,929	▲ 3,908	▲ 3,972	▲ 3,932	▲ 3,742	▲ 4,102	▲ 4,064	▲ 4,204	▲ 4,396	▲ 4,796

建設改良費合計額　75,978

※１　道路工事等により水道管を移設する際に道路管理者から支払われるお金

＜公共下水道事業会計＞

単位：百万円

収益的収支（税抜）
　収入：下水道使用料など
　支出：施設の維持管理費用

ビジョン前期（５年）／ビジョン後期（５年）
使用料算定期間（４年）／現行料金体系の維持を目指す／赤字となる見込み（使用料改定の検討が必要）

科目・年度	例	R8（当初予算ベース）	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収入　①		15,794	15,830	15,674	15,623	15,465	15,354	15,323	15,245	15,209	15,218	15,253
【内訳】営業収益	下水道使用料などの収益	11,762	11,811	11,654	11,553	11,392	11,224	11,165	11,034	10,930	10,831	10,790
営業外収益	市からもらうお金など	4,032	4,018	4,020	4,069	4,073	4,130	4,159	4,211	4,279	4,387	4,463
支出　②		14,442	14,611	14,753	15,057	15,072	15,345	15,553	15,783	15,967	16,207	16,468
【内訳】営業費用	電気代や薬品費、委託費など	13,353	13,494	13,631	13,847	13,812	14,013	14,170	14,348	14,460	14,615	14,792
営業外費用	企業債の利息など	1,074	1,093	1,098	1,185	1,236	1,308	1,358	1,410	1,482	1,568	1,652
特別損失	過年度の決算数値修正など	15	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
当年度純損益　①-②		**1,352**	**1,219**	**921**	**566**	**393**	**9**	**▲ 230**	**▲ 538**	**▲ 758**	**▲ 989**	**▲ 1,215**

資本的収支（税込）
　収入：金融機関からの借入、国からの補助金など
　支出：施設を作ったり、直したりする費用

科目・年度	例	R8（当初予算+R7繰越）	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
収入　③		10,824	6,985	10,792	8,508	8,304	7,188	7,527	8,532	8,829	8,490	7,484
【内訳】企業債	金融機関からの借入	5,036	2,904	5,079	3,838	4,194	3,489	3,477	3,949	4,167	4,051	3,630
出資金	市からもらうお金	1,738	1,505	1,384	1,117	931	704	580	460	337	315	319
国庫補助金	国からの補助金	3,932	2,435	4,188	3,412	3,039	2,855	3,328	3,982	4,184	3,983	3,395
その他	受益者負担金など	118	141	141	141	140	140	142	141	141	141	140
支出　④		17,440	12,881	16,544	14,026	13,477	11,973	12,234	12,923	13,021	12,424	11,243
【内訳】建設改良費	施設を作ったり、直したりする費用	9,726	6,365	9,747	8,240	7,769	7,440	8,015	9,072	9,602	9,224	8,197
企業債償還金	金融機関への返済元金	7,709	6,514	6,794	5,784	5,706	4,530	4,217	3,848	3,416	3,197	3,044
その他	※１	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
資本的収支不足額　③-④		▲ 6,616	▲ 5,896	▲ 5,752	▲ 5,518	▲ 5,173	▲ 4,785	▲ 4,707	▲ 4,391	▲ 4,192	▲ 3,934	▲ 3,759

建設改良費合計額　83,671

※１　水洗便所に改造する方への貸付金